

平成28年1月

保護者 様

牛久市教育委員会

奥野地区における取り組みについて（お知らせ）

日頃より、市教育行政、学校運営にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

牛久市では、現在、奥野地区における学校運営に関して、新たな取り組みを進めています。

市東部に位置する奥野小学校と、隣接する牛久第二中学校は、児童生徒数が減少していますが、「一人ひとりの学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細やかな指導が行いやすい」といった小規模校のメリットを最大限に活かした教育活動を行っています。そのような状況の中、教育委員会では、平成27年6月に文部科学省から示された「少子化に対応した活力ある学校教育推進事業の研究委託事業*①」という委託事業の公募に応募し、全国7地域の中の1つに選ばれました。

昨年11月から「小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化」というテーマで、奥野小学校・牛久第二中学校が一体となった取り組みをスタートさせています。

一例としては、奥野小学校と牛久第二中学校が隣接していることの強みを生かし、9年間の一貫した教育。奥野小学校ではALT（英語指導講師）による毎日15分のイングリッシュタイムの導入やオーストラリアのオレンジ市との交流。牛久第二中学校のALT二人体制による少人数（15人程度）授業や国内での英語宿泊学習なども計画しているところです。

また、自然豊かな地域を生かした環境教育も大学やNPOと連携して行っています。

一方で教育委員会としては、児童生徒数や多様性を確保する観点から、奥野小学校、牛久第二中学校の通学区域を市内全域にする「小規模特認校制度*②」の平成29年度からの導入を検討しています。

これらの奥野地区の学校の取り組みに興味関心がある保護者の皆様には、是非、奥野小学校・牛久第二中学校の学校説明会に足を運んでいただき、両校の取り組みの詳細をお聞きになられてはいかがでしょうか。

学校説明会日程 奥野小学校 2月9日（火）9時～ 牛久第二中学校 2月12日（金）13時～

*①少子化に対応した活力ある学校教育推進事業の研究委託事業

国の積極的な支援のもと、統合による魅力ある学校づくりや、統合困難な地域における教育環境の充実の取組モデルを創出し、国が積極的に分析・発信していく。

*②特認校制度

従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく当該市町村のどこからでも就学を認める制度で、全国的に取り入れられています。（小規模校対策としては、茨城県では、水戸市ほか）

※裏面に、常陽新聞に取り上げられた、奥野小学校の取り組みの記事を掲載していますので、
ご覧ください。

問合せ先 教育総務課 873-2111